

令和3年3月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

3月期の景況DI値は、すべての業種において好転または2月期と同等となり、依然として低い水準にはあるものの、全体として若干好転している。

新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の解除等により客足は多少戻りつつあり、食料品や小売業、サービス業等にあつては、2月期より売上は回復しているが、コロナ前との比較では、激減した状況が続いている。

また、一般機器や建設業等にあつては、概ね当面の事業量は確保できているものの、今後の設備投資案件の引き合いが減少しているなど、不安を感じているとの声が多い。

新型コロナウイルス感染症は、第4波の到来など依然として収束が見通せない中、受注や売上の急激な増加は期待できず、今後も厳しい状況が続くと予測している。

山口県の主要指標DI値（令和3年3月末現在）

※DI値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況 （〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI値〉）

前年同月比は、好転：2.5% 悪化：52.5% DI値：▲50.0% ポイント

売上高 （〈増加〉－〈減少〉＝〈DI値〉）

前年同月比は、増加：12.5% 減少：43.8% DI値：▲31.3% ポイント

収益状況 （〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI値〉）

前年同月比は、好転：5.0% 悪化：46.3% DI値：▲41.3% ポイント

山口県の業種別DI値(業界の景況)（令和3年3月末現在）

--	--	--	--	--

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲55.6	0.0	▲66.7	▲100.0	▲33.3	▲25.0	0.0	▲39.4

卸売業	小売業	商店街	サービ ス業	建設業	運輸業	その他	全 非 製造業
▲60.0	▲75.0	▲100.0	▲54.5	▲36.4	▲42.9	▲100.0	▲57.5

全 体
▲50.0

特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	公共交通機関売店の売上は依然戻らない。卒業式シーズンであるが、規模を縮小して開催されるため、来客用菓子の発注が無く、売上は激減。	パン・菓子製造業 山陽小野田市
	昨年はコロナウイルスの影響で学校が休校となったが、今年は休校もなく、売上は2倍以上増加した。	パン・菓子製造業 下関市
	2月店舗売上の合計は対前年同月比+1%。降雪の影響や営業日が1日少なかったこともあったが、比較的天候にも恵まれ前年をクリアできた。3月は3/23時点で対前年同月比+20%程度と順調に推移している。早咲きの河津桜効果や萩椿祭りもあり、穏やかな天候にも恵まれ、県内の他市町や隣接県からの来客が増加傾向である。毎年恒例の「萩しろうお祭り」「萩・真ふぐ祭り」は中止したが、代わりにオンラインショップ上で「萩の真ふぐセット」を特別販売したところ2日間で100セットの完売となった。12月に開設したオンラインショップは1ヵ月で30~40万円程度の注文となっており、今後は、季節の旬魚を手軽に楽しめるセット商品を強化していくつもりである。	水産食料品製造業 萩市
	たいへんな時代となった。地域経済の先行きが見通せない中、組合員は頑張っている。	水産食料品製造業 長門市
	新型コロナウイルスがなかなか落ち着かず、ベトナム人実習生の出入国が難しい状況は変わっていない。ただ最近になり少しずつ入国ができるかもしれないという話も出ている模様で、飛行機が早く通常運航になることを願っている。	水産食料品製造業 下関市
	組合員の業況で第一の問題点は、原料不足・原料の高騰にあり、幅広い事業拡大に至らない事である。世界的な新型コロナの影響で輸出にも遅延がみられる。国等支援策の動向を把握することが重要である。3月も関東・関西・福岡の受注が無く、前年の30%前後減少の見込み。築地等の状況も悪く、閉店や人が歩いていない等の情報もちらほらと聞いている。	
	新型コロナウイルスの蔓延に伴う緊急事態宣言は解除されたが、各種イベントが中止となった状況に変わりなく、経済活動の厳しい状況が続いている。飲食店の時短要請などにより、関連食材の売り上げも激減し、特に山口県の日本酒メーカーの売り上げ減少が酒米の買い控えというところにつながっており、影響が多岐に広がっている。今後は、ソーシャルディスタンスに	精穀・製粉業

	基づく経営活動を遂行してくための中小企業向けの支援対策を早急に充実させること、ワクチンの接種を迅速に進めることにより、コロナの発生を抑え経済活動の回復を図ることが必要である。	
繊維工業	中国人技能実習生 1 名が臨時帰国し、現在実習生は 52 名（中国人 26 名、ベトナム人 26 名）。コロナ禍で、新規受け入れ、第 3 号受け入れ等難しい状況。新規については、面接をテレワークで実施しているが、受入が適わない現況である。コロナウイルスが収束するまでは難しいのではと懸念している。	下着類製造業
	短納期の発注が増加している。	外衣・シャツ製造業 山口市
	3 月の生産量は前年並み。これから夏物の生産時期となるが、メーカー担当者によると「恐らく前年並みの発注はあるだろう」とのこと。	外衣・シャツ製造業 山陽小野田市
木材・木製品	木材価格等の高騰、公共の仕事等もなく、ダブルの厳しさである。	製材業・木製品製造業 岩国市
	3 月の売上は対前年同月比で平均約 20% 程度の減少。現在の業況が常態化している。	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	新型コロナウイルスの緊急事態宣言は解除されたものの、時短要請や自粛要請は続いており、景気の急激な回復は期待できない状況である。印刷業界は、年度末となる 3 月が 1 年間で最も繁忙期であるが、イベント等の規模縮小や減少により、印刷物の受注状況は例年と比較してかなり減少している。令和 2 年度はコロナに始まりコロナに終わった 1 年であったが、令和 3 年度は東京オリンピックも開催されるので、印刷需要の大幅増加に期待している。	印刷 下関市
	年々年度末の報告書等の物件が少なくなる傾向にあるが、今年は、休日にも普通に取れるほど時間に余裕があった。	印刷 山口市
窯業・土石製品	出荷量は、 (令和 2 年 3 月)骨材 103%、路盤材 87%、再生材 73% ↓ (令和 3 年 3 月)骨材 115%、路盤材 105%、再生材 142%	砕石製造業
	出荷量は、前月比 121%、前年同月比 103%。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。生コン販売価格は安定している。	生コンクリート製造業 山口市
	昨年度は特需工事が複数あったため、今年度売上高は減少となっている。	生コンクリート製造業 周南市
	春のお彼岸のお墓参りの時期となり、この冬の寒波の積雪等で倒れた灯籠や、お墓の修理依頼が入ってきているが、雪がクッションとなるので破損や欠損等は少ない。当組合では、新型コロナウイルスの影響は相変	石工品製造業

	<p>わらず少ない。</p> <p>1都3県に発令されていた緊急事態宣言が3/21に解除され、観光客も少しずつ戻ってきている。萩市内の小売りは回復傾向にあるものの、百貨店や大都市の小売店、ギフト関連の受注は回復せず、合算し昨年同様の売上である。3/17から7日間、横浜高島屋で萩焼協同組合主催の萩焼展を行ったが、売上は目標額の70%と大きく下回る結果となった。3/17から福岡マリンメッセで開催予定だった陶磁器フェアは中止。5月の萩焼まつりの中止が決定したため、5/1から1ヶ月間、webで萩焼まつりを開催する。</p>	陶磁器・同関連 製品製造業
一般機器	<p>新型コロナウイルスの影響で、外国人技能実習生の面接が出来ず、引き続きリモート面接に変更し対応している。</p>	一般機械器具製造業 岩国市
	<p>3月は期末ということもあり、忙しい企業が多かった様子だが、厳しい企業も少数ながらあった模様。新型コロナウイルスの影響で、今後の設備投資案件の引合いが減少していると話す企業が多くなった感がある。</p>	一般機械器具製造業 下松市
	<p>雇用調整助成金を受給している組合員がある。</p>	一般機械器具製造業 周南市
	<p>山口県の新型コロナウイルス感染者累計が、3/1から増加傾向。中国と取引のある組合員は追加工事を受注し、ロット数が多いこともあり活気がある。自動車関連の組合員は、半導体大手企業の火災により生産が一時停止となっているが、その影響が減産に繋がらないかを案じている。4/1から施行・適用された金属アーク溶接等の作業について健康障害防止措置が義務付けられたが、換気装置の改善・呼吸用保護具・濃度測定・年2回の健康診断・作業主任者の養成などの課題が多く、相当の経費を要することとなる。これまで「溶接ヒューム」による罹災状況が大きな話題とならなかったが、現在のコロナ禍に、中小企業に経費の負担が重くのしかかっていることに疑問を抱く。</p>	一般機械器具製造業 防府市
	<p>新型コロナウイルスの蔓延による若干の影響はあるが、概ね事業確保は出来ている。但し、食肉、食品加工、など一部企業で売れ行きが悪化、機械加工で業務量の減少から人手が余剰となってきている企業もみられるが、外国人技能実習生の継続雇用に問題はない。一方、新規外国人の入国が出来なくなり人手不足から残業が増加し事業継続に支障が出てきている企業もあり、入国制限の早期解除が望まれるところである。帰国については引き続き困難な状況であり、特定技能、特定活動への在留許可の切り替えにより対処しているが、この状況が長引くと、外国人技能実習生のモチベーション維持が難しくトラブルにつながる懸念</p>	一般機械器具製造業 宇部市

	される。	
	各地で第4波が来るなど新型コロナウイルスの影響が長引く可能性があり、企業活動が鈍くなっているが、何とか持ちこたえている状況である。	
輸送機器	鉄道車両関係は概ね2年先までの生産予定はあるが、世界的なコロナ禍の状況次第で減少することも見込まれる。国内車両関係でも、受注の取り止め・先送り・減産等々コロナ禍の影響が予想される。半導体は当初の予定よりも多少受注が減少している。産業プラント部門が下松からの撤退発表を機に調整作業になっている。新型コロナウイルスの流行により取引各社の操業度の落ち込みがあり、受注の落ち込みも有る。	鉄道車両・ 同部品製造業
卸売業	倉庫全体の売上は、前年同月比でほぼ横ばいであるが、商品や企業によって差が出た月であった。	乾物卸売業
	燃料価格の高騰が影響し、収益が悪化。	各種商品卸売業
小売業	組合員の売上は対前年同月に比し厳しい模様。暖かくなり、日焼け止めも動き始めた店舗もある。最近、各メーカーのセミナーでインスタグラムやLINEなどSNSの使い方やコンテンツの書き方などを紹介しているせいか、組合員の店舗も掲載され、お互いの勉強になっている模様。SNSのフォロワーの来店時にサンプルをプレゼントする企画が来店促進となっている組合員もある。	化粧品小売業
	新型コロナウイルス感染症に伴い、前年同月と同様に顧客の大量動員を見込める大規模展示会の中止を余儀なくされ、依然として厳しい状況で推移している。	農業用機械器具小売業
	家電の売上は新入学等により少し増加し、対前年同月比105%位。	機械器具小売業
	新型コロナウイルスは完全な終息が期待できない限り、業況は浮き沈みしながら進んでいくことになると予想する。岩国市では、市独自財源による小売業支援対策として「プレミアム付き商品券」の発行による景気回復の喚起のほかに、「イベントに対する補助金」など、現場に即した支援施策が検討されている。商店街や商店では、これらの情報を正しく迅速に掴んで、有効に活用していきたい。	各種商品小売業 岩国市
	商店街の来街者は2月より増加しているが、前年同月よりは減少している。「さくらえびす祭」のイベント開催日は来街者が多かった。駐車場の現金売上が減少しており、また、組合員への共通駐車サービス券の販売も減少している。ホール売上及びホール申込み件数も減少している。全体の売上は前年同月比で約50%の減	各種商品小売業 周南市

	少である。	
	暖かくなり、人通りも少し増えているようだが、昨年と比較すると売上は戻っていない。	各種商品小売業 下関市
商店街	今年に入り、新規の開店も数件あり、町としては安定している。但し商業での出店は年々少なくなっており、商店街としては有名無実化している。	宇部市
	卒業入学シーズンにより人出がある。学校関係の店舗は「毎年のお客の出入りはあるが、少子化の影響が大きく、売上も昨年よりは 30%程度下がっている。」と話す。多くのお店は人の出入りがあるだけ気持ち的に違うようである。	萩市
サービス業	新型コロナウイルスも少し収まった様子を呈しており、ワクチン接種も始まった。業界的にはインフラ的な業種であるので、それ程新型コロナの影響を受けていないが、今年の 3 月は昨年と違い、卒業式や結婚式等が開催され出かける機会が多い分、売上も 10%強伸びている様子である。	美容業
	コロナ禍、少しずつ客足が戻っている。	理容業
	自動車整備工場における自動車整備要員の人材確保が困難を極めている中で、国の施策である「外国人自動車整備技能実習制度」が運用されているが、山口県においても平成 29 年 4 月から外国人に対する評価試験を実施し、トータルで 40 名が受験している。このように、外国人に頼らないと整備要員の確保が難しいとされている中だが、当組合では女性整備要員に着目し女性の働きやすい職場環境を整える目的で、既に女性整備士として働いている方々に集まってもらい「女性整備要員懇談会」を開催した。この懇談会で出た女性整備士が持つ悩みや問題点などを整理して、今後の雇用対策に役立てることを考えている。	自動車整備業
	新型コロナウイルスによる影響で大変な状況である。県内でもエリアにより状況は多少異なる。	スポーツ・健康教授業
	当店の 3 月の売上は前年同月比では良かった。3 月後半から繁忙期に入ったと思われるが、新規客が増えたわりには、売上がそこまでは伸びていない。これは他店から当店へ流れたためと考えられるため、業界全体としてはクリーニング需要が減っているとも考えられる。また、「この繁忙期が今後のクリーニング店の生き残りの大きな区切りになる」とも言われている。	普通洗濯業
	新型コロナウイルスは一旦落ち着いたようにも見えるが、ワクチン接種がまだまだ先とのことで、相変わらず売上は減少している。ゴールデンウィークにまた感染拡大がなければよいと思っている。	飲食業

	3月末に2社が事業廃止した。JRの売上は前年同月比では100%だが、令和元年度売上の14.5%に激減している。	旅行業
	前年同月比で売上118.7%、宿泊人員115.6%とオーバーしたが、新型コロナウイルス感染前の前前年同月比では、売上56%、宿泊人員76.4%となり、非常に厳しい状況が続いている。前年よりは良くなっているが、コロナの関係で売上が落ちている。	旅館業 山口市
	令和2年3月との比較では僅かながら増収、令和元年3月との比較は50%にも満たない。緊急事態宣言は解除されたものの、第4波が来ており、歓送迎会自粛の働きかけもあり、宴会の予約が入ってこない状況である。	旅館業 下関市
	飲食部門は休業により売上が減少。入浴部門は売上高10%の減少。新型コロナウイルスの影響が続いている。旅館等の宿泊客は対前年同月比30%以上の減少が見受けられる。昨年はスポーツ施設の利用が減少したが、今年度になり少しずつ少年サッカー等の利用もあり、入浴者が増加しつつある。	旅館業 長門市
建設業	中電への工事申請99件(当支部89件)、前年同月102件(同85件)。太陽光発電への申請14件(前年23件)、オール電化申請45件(前年57件)。LED街路灯への切り替え・新設申請25件(前年11件)であった。	電気工事業
	今年後半から工事量の増加は見込めるものの、当面は少ないと思われる。この20数年間で左官の技能者数(全国)は7割減少しており、大型工事への対応が難しくなりつつある。	左官業
	組合員は令和2年度の受注工事を無事完了した模様。令和3年度の工事発注に期待をしているが、変異型ウイルスが拡大傾向にあり、大変不安に思っている。	管工事業
	オリンピック・パラリンピックの聖火リレーがスタートしたものの、新型コロナウイルスの第4波の感染拡大が危惧されている。上関大橋の架橋事故も従前どおりに復旧した。柳井市の企業誘致により、旧日立製作所の遊休地へ日鉄ドラム株式会社の進出で、現在、地盤改良工事が始まっている。この工事への組合員の参画は無いものの、当地区においては、久しぶりの大型工事であり、その経済波及効果が少なからず期待されている。	土木工事業 柳井市
	3年3月の受注高は、対前年同月比95.7%。今年度の累計は、対前年比83.0%である。	土木工事業 萩市
	土木工事については、ほぼ前年並みで推移している。	土木工事業 長門市

	仕事量は公共・民間工事ともに希薄な状況で、小規模物件を複数こなして確保している。見積件数も少なく見通しが不透明で不安を感じている組合員が多い。	鉄骨・鉄筋工事業
	新型コロナウイルスの影響で、売上が減少。	内装工事業
運輸業	輸送関係は年度末の今月も新型コロナウイルスの影響で荷動きは例年に比し少なく、月半ばより輸出・国内向けとも活発化したものの、対前年同月比0.5%位の減少。国内向け荷動きの活発化を祈るのみである。燃料費は4円値上げ。月毎の上昇に中小輸送業者は苦渋の日々で、せめて軽油引取税の減額を望む。	一般貨物自動車運送業 下松市
	組合の輸送取扱高については未だに前年同月比約20%程度減少している。半導体の供給不足が続いており、自動車関連の輸送については更に悪化しそうである。燃料費は右肩上がりの状況である。	一般貨物自動車運送業 防府市
	運送関係は、相変わらず荷動きが鈍い。倉庫保管については、県内では空きがかなり出てきているとのことであるが、当組合は今のところは目立った保管案件の減少はなく、安定している。製造関係のお客様はかなり持ち直してきているとみられ、作業請負案件がかなり増えてきている。	一般貨物自動車運送業 宇部市
	タクシーチケットの取扱い金額（税込み）は、前年比▲44.5%（令和3年2月1日～令和3年3月20日分）。2月1日～28日分は▲56.0%、3月1日～20日分は▲16.5%。当組合の取扱いタクシー事業者は、光市、下松市、周南市、防府市の地域。2月分については、周南▲57.3%、下松▲65.9%、光▲55.7%、防府市地区が▲51.1%で、組合員の全域では▲57.3%、地区外（員外）▲37.5%、合計▲56.0%▲10,631千円）。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動する。CPが上がり（前月557.5\$/トンが今月590.0\$/トン、前年512.5\$/トン）、輸送用バンカーC重油も上がり（前月462.0\$/トンが今月518.0\$/トン、前年510.0\$/トン）。為替は円高（前月104.69円/\$が106.37円/\$）。燃料単価は前月プラス3円/ℓ（+4.1%）となった。前年の最高値と同じになり、収入が落ちている中たいへん厳しい状況。タクシー乗務員は労働条件が厳しい（賃金が少ない）事もあって慢性的に不足しており、人員不足もあって車両の稼働率は大幅に下がっている。現金利用の多い個人利用客はもう少し良いが、法人利用の多い当組合のチケットでは、出張移動や会合などの自粛により、厳しい数字となった。当地区での新型コロナ感染者の発生は減少しているが、夜間の飲食関係は全く回復していない。新型コロナによる大幅な影響が出て1年になったが、回復時期の目途もなか	一般旅客自動車運送業

	なか立たず、たいへん厳しい状態が続いている。	
	3月是对前年同月比で、ほぼ同じ取扱高となった。	港湾運送業
その他	新型コロナウイルスの先行きがまだ不透明だが、来日の準備を進めていきたい。	介護事業